

VI 会場運営基本計画

1. 交通輸送

1-1. 交通輸送計画

(1) 現況

1) 現況交通手段

- ・愛・地球博記念公園には、現状では、主に以下のような手段により、来場者が訪れている。
 - リニモ
 - 自家用車
 - 大型車(団体バス)
 - その他(バイク、自転車、歩行者)
- ・本園への来場は、主にイベント時にピークを迎えるが、イベント時やゴールデンウィークの交通手段別来場者割合は以下のとおりであり、大部分が自家用車の利用である。

表VI-1 愛・地球博記念公園イベント時の交通手段別来場者割合推定値(H24年度)

年間最多来場者日における割合

リニモ		自家用車		大型車		その他		合計
入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	
3,333	17.8	15,424	82.2	0	0	18	0.1	18,775

表VI-2 愛・地球博記念公園イベント時の交通手段別来場者割合推定値(H25年度)

5月末までの最多来場者日における割合

リニモ		自家用車		大型車		その他		合計
入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	入園者数 (人)	入園 割合 (%)	
6,702	28.6	16,427	70.1	0	0	292	1.2	23,421

2) 現況交通量(交通量調査)

- ・緑化フェアの開催に伴う愛・地球博記念公園への自動車来場者の増加による周辺交通への影響を検討するために、混雑が予想される代表的な交差点を抽出して交通量の現況を調査した。

<調査日時、調査交差点>

- ・2013年9月8日(日) 9時～17時の間で3時間帯でのサンプル調査(以下のとおり)。

表VI-3 調査交差点及び調査時間

	朝 (来場ピーク時 想定)	昼 (昼の来場/退場 錯綜時想定)	夕 (退場ピーク時 想定)
○愛・地球博記念公園北口北、 北口交差点	9時～10時	12時～13時	15時～16時
○前熊東交差点	10時～11時	13時～14時	16時～17時
○愛・地球博記念公園西交差点	9時～10時	12時～13時	15時～16時
○長久手 I . C . 交差点	10時～11時	13時～14時	16時～17時

<調査結果概要>

- ・上記で得られた調査結果を踏まえ、過去の交通センサスデータを用いて調査時間帯以外の時間帯についても交通量を推定し、現在の休日の各交叉点の混雑度を算定した。
- ・その結果、各交差点とも現状の交通量では、渋滞がおこることはないものと推定された。
- ・しかし、当公園においてイベント等が実施された場合においては、交差点によっては大きな渋滞が発生しており、フェアが開催されることで自動車交通が増加すると、主要な交差点では渋滞が発生することが予想される。

(2)課題

○駐車場不足とリニモの利用

- ・フェア期間中は、多くの人々が本園を訪れることから、現在の入場割合を踏まえると、駐車場の不足が予想される。
- ・そこで、フェア期間中の臨時駐車場の整備やリニモ利用促進を検討する必要がある。

○交通渋滞への対策

- ・フェア期間中は、自動車交通の増加に伴い、主要交差点において大きな渋滞が予想される。
- ・そのため、駐車場の分散化やシャトルバスの運行、リニモの利用促進など、交通渋滞への対策が必要である。

(3) 基本的考え方

臨時駐車場の整備、シャトルバスの運行

- ・既設駐車場だけでは収容しきれない自動車は臨時駐車場で対応するとともに、必要に応じてシャトルバスの運行を検討する。

リニモの利用促進

- ・広報宣伝に努める一方、「フェア会場での特典」や「あいちの花を使ったプレゼント」などによりリニモの利用促進を図ることを検討する。



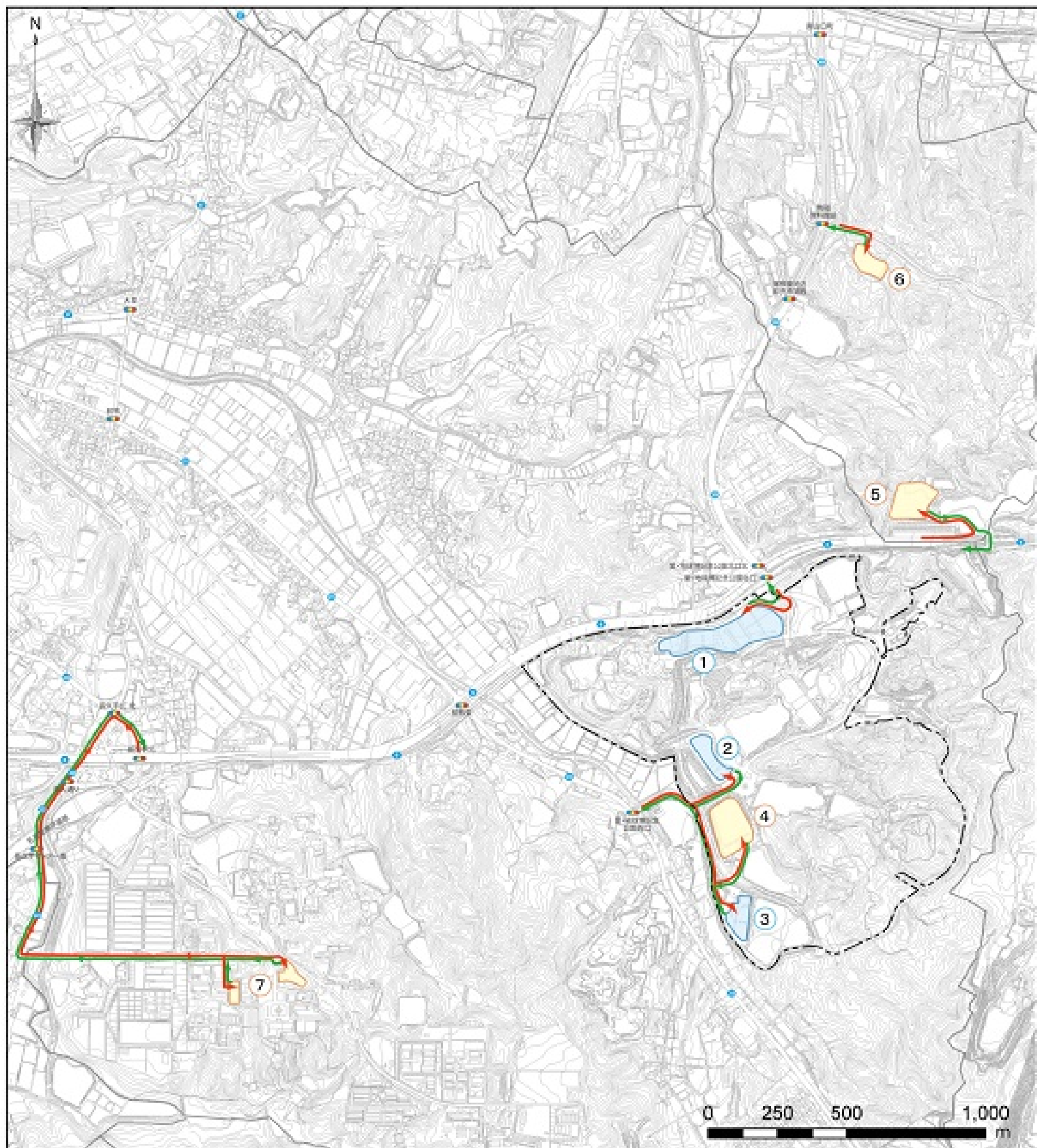
(4) 今後の展開

1) 駐車場、シャトルバス

- ・フェア期間中は駐車場不足が予想されることから、既設駐車場に加え以下のような臨時駐車場を検討する。
- ・なお、以下の駐車場の中でも陶磁美術館や農業総合試験場の駐車場は、会場から離れていることから、シャトルバスの運行を検討する。






表VI-4 駐車場計画(案)

区分	場所	施設	台数(台)
既設駐車場	愛・地球博記念公園	北側駐車場	1,057
	愛・地球博記念公園	西側駐車場	392
	愛・地球博記念公園	南側駐車場	362
	小計		1,811
臨時駐車場候補	愛・地球博記念公園	(臨)多目的広場	400
	知の拠点	西側下段空地	470
	陶磁美術館	西駐車場	150
	農業総合試験場	駐車場	180
	小計		1,200
合計			3,011



■ 駐車場

【凡例】

- | | | |
|---|---|---|
|  : 既設駐車場 |  : 臨時駐車場候補 |  : 来場車線 |
| ① : 愛・地球博記念公園_北側駐車場 | ④ : 愛・地球博記念公園_(臨)多目的広場 |  : 退場車線 |
| ② : 愛・地球博記念公園_西側駐車場 | ⑤ : 知の拠点_西側下段空地 | |
| ③ : 愛・地球博記念公園_南側駐車場 | ⑥ : 陶磁美術館_西駐車場 | |
| | ⑦ : 農業総合試験場_駐車場 |  : 愛・地球博記念公園 |

図VI-1 駐車場計画(案)

2) 運行体制

・駐車場及びシャトルバスの運行については、行催事計画で設定したタイプ別に、運営区分として4つ体制を設定する。

表VI-5 運行体制

行祭事の日タイプ	運行体制区分	集客概要	運行体制
スペシャル日	S体制	集客規模の大きなメインイベントを実施	<ul style="list-style-type: none"> ○最も多くの来場者が予想される日であり、既設駐車場(1,811台)及び4つの臨時駐車場(1,200台)の使用を想定する。 ○また、陶磁美術館、農業総合試験場の駐車場からは、シャトルバスの運行を想定する。
主要催事日	H体制	各楽章の最終週末を中心に集客規模の大きな主要催事を開催	<ul style="list-style-type: none"> ○スペシャル日に準じて多くの来場者が予想されることから、既設駐車場(1,811台)及び多目的広場、知の拠点の臨時駐車場(870台)の使用を想定する。 ○状況に応じて、陶磁美術館や農業総合試験場の駐車場(330台)の使用を想定する。 ○また、陶磁美術館や農業総合試験場の駐車場の開場に応じてシャトルバスの運行も検討する。
休日	M体制	上記タイプ以外の土・休日集客規模中型の催事を開催	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの来場者が予想されることから、既設駐車場(1,811台)及び多目的広場、知の拠点の臨時駐車場(870台)の使用を想定する。
平日	L体制	平日の方が参加しやすい層をターゲットとした小型の催事、体験プログラム等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○既設駐車場(1,811台)を基本とし、状況に応じて多目的広場、知の拠点の臨時駐車場(870台)の使用を想定する。

(3)リニモ利用促進対策

- ・駐車場及びシャトルバスの運行とともに、できるだけリニモの利用を促すための対策を検討する。
- ・リニモの利用推進のためには、大きく①広報と②利用サービスの向上があげられ、以下のような対策を検討する。

< 広報展開(例) >

- テレビや新聞等のマスメディアを通じたリニモ利用促進のための広報
- 駐車場情報を、Web等でリアルタイムで発信 等

< 利用サービスの展開(例) >

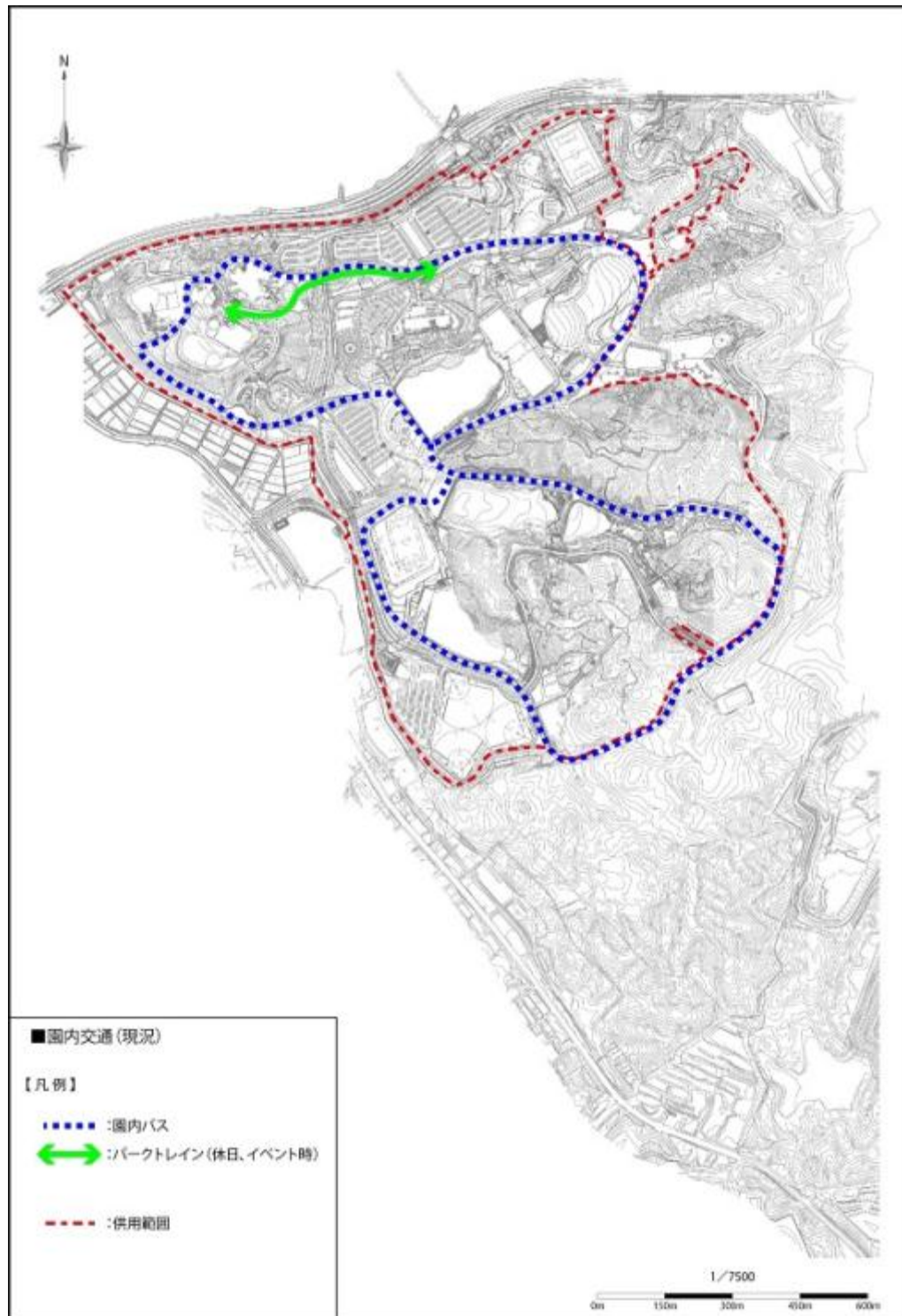
- リニモ利用者へのプレゼント(ピンバッジや花の種等)
- 地元商店街や都心部事業者(商店、駐車場)等と連携した割引券等の配布
- 抽選による花のプレゼント(「花に込めたメッセージ」の活用等)
- 有料催事の割引特典
- 人気施設の優先入場 等

- ・なお、上記の促進対策の実施にあたっては、リニモ事業者や地元商店街、催事主催者など、関係者との連携が必要であり、早くからの調整が必要である。

1-2. 園内交通計画

(1) 現況

- ・愛・地球博記念公園では、現状、広い園内の移動を補助するために、園内バスが運行している。
- ・また、休日やイベント時には、北側駐車場とこどもの広場を結ぶパークトレインが運行している。



図VI-2 愛・地球博記念公園園内交通(現況)

(2) 課題

○広大な会場移動を補助する手段の確保

- ・愛・地球博記念公園は広大な敷地を有し、歩行による移動は労力を要する。
- ・また、フェア会場の回遊性を高めるためにも、補助的な移動手段は重要である。
- ・フェアは主に本園の北側を中心として開催されることから、フェア期間中は主に本園北側の園内移動を補助するとともに、園内全体に対しても広い園内の移動を補助する園内交通の検討が必要である。

(3) 基本的考え方

会場の利便性、回遊性を高める パークトレインなどの運行

- ・フェア会場の利便性と、主要動線の回遊性を高めるために、パークトレインの運行を検討をする。
- ・ベロタクシーや、環境型ビークルによるガイドツアーなど、環境に配慮した乗り物の導入を検討をする。



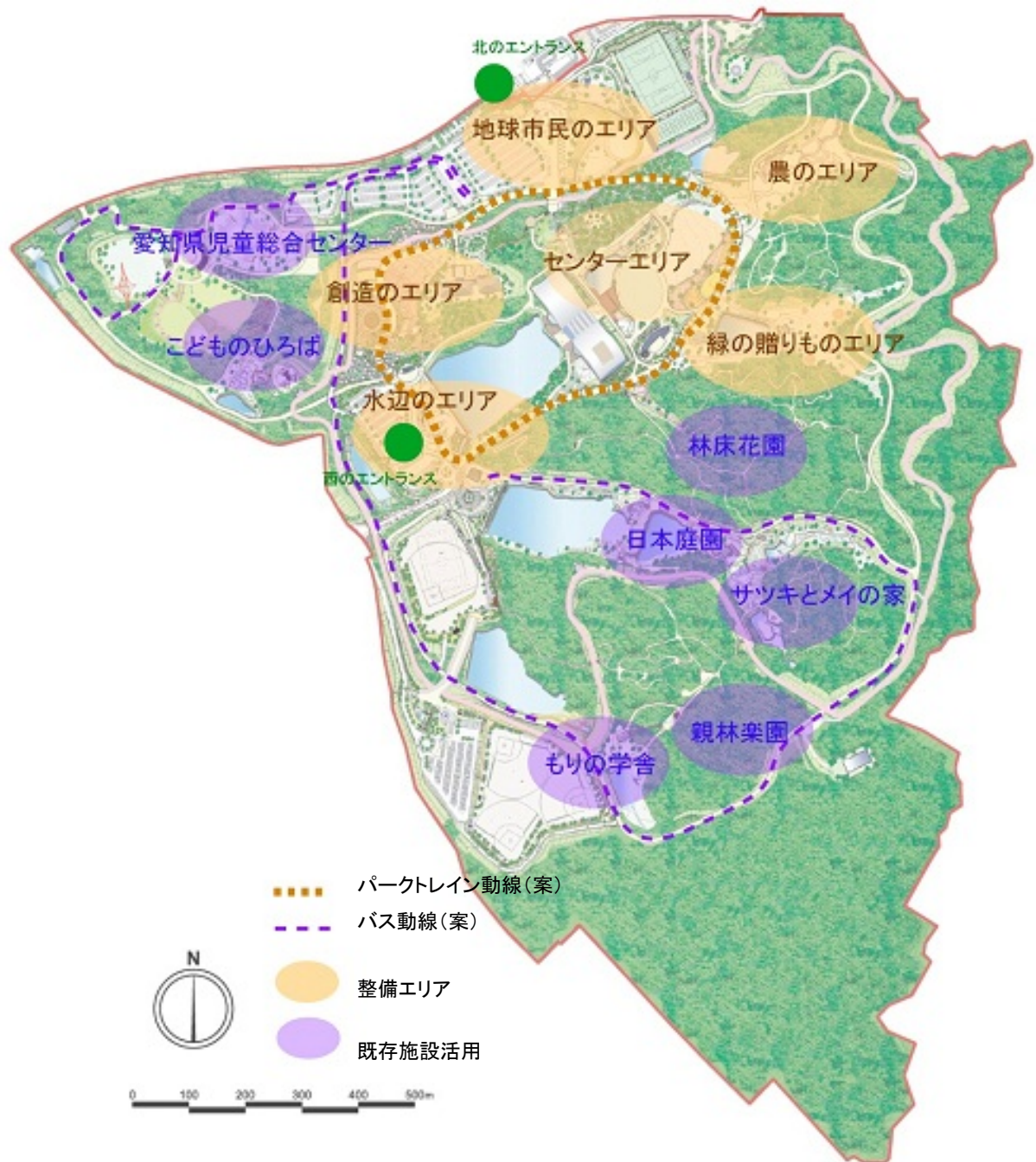
南北をつなぐ園内バスの運行

- ・フェア会場の広域的な移動を補完するため、公園南北を連結する園内バスを運行の検討をする。



(4) 今後の展開

- ・整備エリアを周遊するパークトレインを検討する。
- ・また、フェア会場となる北側と既存施設のある南側をつなぐために、愛・地球博記念公園を南北を行き来するバス動線を検討する。また、北側駐車場と公園西駅方面を結ぶバス動線も併せて検討する。



図VI-3 園内交通計画(案)

2. 会場運営

2-1. 公園管理現況と計画の基本的考え方

(1) 公園管理の現況

1) 開場時間

- ・愛・地球博記念公園の開場時間は以下の通りである。

<愛・地球博記念公園の開園時間>

4月～10月・・・8:00～19:00(施設は8:00～17:00)

11月～3月・・・8:00～18:30(施設は8:00～17:00)

* 有料施設及び屋内施設が利用できない日(月曜日(月曜日が祝日場合は次の平日)等)
は 17:30 まで

2) 管理体制

- ・愛・地球博記念公園は、愛知県からの委託により、(公財)愛知県都市整備協会が指定管理者として管理運営を行っている。
- ・当協会では、有料施設(駐車場、茶室、サツキとメイの家、温水プール、アイススケート場等)の運営を行うとともに、警備、清掃、植栽や公園施設の維持管理を行っている。
- ・また、当協会の管理の下、民間活動団体や民間事業者等が、園内で植物管理等のボランティア活動を実施している。
- ・一方、本公園では、NPO、ボランティア団体、企業、大学などが公園管理者である行政、指定管理者と一緒に公園の運営について協議・実践する場として、「公園マネジメント会議」が設立されており、きめ細やかなサービス提供、利用者の満足度向上、魅力ある公園づくりに取り組んでいる。